

11月の 園便り

20年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子



子どもの絵は心の表現ですから、嬉しいこと、感動したこと、悲しいこと、寂しいこと、好きなこと……等々の“思い”が表れます。だからこそ、子どもの絵は魅力があって、人をひきつけるのだらうと思います。のばら祭に御出でくださった幼児教育に携わる方々が、子どもたちの絵をご覧になり「子どもらしい、いい絵ですね。」と言ってくくださったのも、一人ひとりのその子らしい思いが表れていたからなのだと思います。

さて、のばら祭に展示されていたA君の絵は、「幼稚園で田植えをしている」という題でした。その絵のコメントは、「田植えの時、二人一組になったのですが、絵を描きながら『オレはBちゃんとやったな』と言っていました。手と足がとてもいきいきと描かれていますよ。A君の手は、泥で汚れています。周りのチューリップは、自分で植えたよという満足感いっぱいの雰囲気があります。」という内容でした。（担任たちは子どもたちの様子をよく見つめてきちんと理解をしています。）私はこの絵を見たときに、人の心に訴える魅力的な絵だなと思ったのです。のばら祭の時にちょうどA君のお母さんにお会いしたので、いい絵ですねとお話しました。するとお母さんは「Aは、Bちゃん命なんですよ、Bちゃんが大好きだから田植えのときに二人組みになったのが嬉しかったみたいで、喜んで描いたんだと思います。」と教えてくださいました。そうか！そういう思いがあったのか！と、私はすぐに展示室へ戻り、もう一度絵を見てみました。……なるほど、確かに中央に大きく描かれているのは、Bちゃん！（大好きだから中心に描かれています）そしてその横にA君が描いてあって、その手には泥がついていて、A君の顔はなんて柔らかな笑顔！（どんなに嬉しかったかが分かります）稲を植える箱には、苗が数本植えられていますし、チューリップが、二人の周りを囲むように画面いっぱいに咲いています。（あふれるような喜びがチューリップに表現されているのではないかしら）A君の思いを知ってから見たときには、A君の絵がさらに輝いて見えました。こういう微妙な心は、お母さんでなくては分からないものですから、教えていただいて本当に嬉しかったのです。子どもの心を知ることの重要性をつくづく感じたA君の絵でした。A君の絵のことを担任に話したら「A君、この絵を出す？（どの絵を展示するかは子ども自身が決めます）って聞いた時に、最初は嫌だって言ったんですよ、」と言っていました。A君にとっては宝物の絵だったのでしょね。ところで、のばら祭後、子どもたちは、「描きた〜い」といって、自ら喜んで描きだしている姿が多く見られたとのことでした。子どもたちは、いろいろな機会を、積極的に自分自身の成長の糧にしていけますね〜 子どもたち、すばらしい！！

20年11月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	土	×	11:30	自由登園日	つばみの広場があります。
2	日				
3	月			文化の日	
4	火	○	2:00		
5	水	○	2:00		
6	木	○	2:00		
7	金	○	2:00		
8	土			第2土曜日	
9	日				
10	月	○	2:00		
11	火	○	2:00		
12	水	×	11:30		午後〜21年度の新入園児保護者会があります。
13	木	○	2:00		
14	金	○	2:00		
15	土	×	11:30	自由登園日	
16	日				
17	月	○	2:00		
18	火	○	2:00		
19	水	×	11:30	誕生会です。11月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう	
20	木	○	2:00		
21	金	○	2:00		
22	土			第4土曜日	
23	日			勤労感謝の日	
24	月			振替休日	
25	火	○	2:00		
26	水	×	11:30	青陵幼稚園研修会	
27	木	○	2:00		
28	金	○	2:00	味噌づくりの会があります。	
29	土	×	11:30	自由登園日	卒園された保護者の方の味噌作りの会があります。
30	日				